

令和 8 年度浜竹保育園事業計画

1. 概 要

①運営方針

- 大田区は子育て施策に力を入れ組織の見直しをしたようです。7年度より「子ども家庭支援センター」は「出産・子育て応援担当」を新設し、こどもの育ちを支援する政策として妊娠期から成人するまで幅広く行政が関わり、子育てしやすい大田を目指しているようです。
保育園も子育て支援員として活動できるよう東京都の専門研修生を順次養成していくようです。
浜竹保育園も7年度に続き研修生を出します。浜竹保育園として大田区の目指す子育て支援への理解を深め出来る事から関わっていきます。
- 近年様々な自然災害が増えています。職員一人一人が危機感を持つことが重要と考えます。安全保育の見直しと応急保育開設準備訓練他、避難訓練や防犯訓練もこれまでと違った内容を取り入れ、ひとり一人の危機感と意識高揚を図ります。
- 保育事務等 ICT 化について現在利用している事務の範囲を広げるという課題の取り組みは必要と考えます。令和 8 年度は保護者の要望を受け、子育てについて園と共有を深められるよう試行的に通常保育の様子をタブレットやパソコンを通し送迎時に視聴できる機会を設ける等、有効的な利用について検討実施します。
- 子育て中の保育士が増え、シフト体制が年々大変になってきています。早番・遅番の保育の在り方など限られた体制の中での保育の工夫について早い時期に全体で検討、現状に合わせた体制を構築し意識転換を図ります。

②定 員 1 4 0 名（大田区との協定によります。）
 （3 0 年度より前期・後期に分け各 1 名予約制導入）

③事業日数 3 0 9 日（1 2 月 2 9 日～1 月 3 日までは大田区の規定により休園します。）

④開園時間 月曜日～土曜日 7 時 1 5 分から 2 0 時 1 5 分
 休日保育 （令和 8 年度は、1 0 月・1 1 月・1 2 月のみ実施予定）
 8 時 3 0 分から 1 7 時 3 0 分

⑤保育時間 （月曜日～土曜日）
 早朝保育 7 時 1 5 分から 8 時 3 0 分
 通常保育 8 時 3 0 分から 1 8 時 1 5 分
 延長保育 1 8 時 1 5 分から 2 0 時 1 5 分

⑥職員数 園長 1 名、 主任保育士 2 名、

保育士 22名（うち1名5月復帰）
看護師2名、（産休代替え含む） ・栄養士・調理員 5名
補助員（正規・無資格1名）
非常勤保育士3名 延長専任非常勤保育士1名
保育補助員パート（早朝または夕方保育）2名、
嘱託医（大田区の指定による） 内科医1名、歯科医1名

2. 保育運営

①保育理念

- こどもは、こども同士認め合い、助け合い、学び合う、こども社会の中で、成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは、こどもの個性・人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

②保育方針

- 十分に養護の行き届いた環境の下、こども達が主体的に生き生きと生活・活動できる環境を整え自己を十分発揮し人として『生きる力』をはぐくむ。
- 愛着関係を確立させ、こどもとの継続的な信頼関係を築く。
- 保育所職員の専門性を活用し、在園児及び地域の子育て支援を行う。

③保育目標

「共に遊び 共に育ち合い 学びに向かう子」

1. 友達と一緒に遊び、楽しみながら様々な体験を重ねる中で、考えたり工夫したり、協力したりしながら主体的に行動する力を身につけるこども
2. 互いの思いや考えを共有したり、自分と異なる考えに気付いたりしながら学びに向き合い、互いに育ち合える子

④クラス編成及び職員配置

0歳児	かめ組	17名	保育士7名（非常勤保育士1名・補助員1名）
1歳児	かに組	21名	保育士5名（補助員1名）
2歳児	ぺんぎん組	24名	保育士4名（非常勤保育士1名・補助員1名）
3歳児	いるか組	26名	保育士3名（非常勤保育士1名）
4歳児	とびうお組	26名	保育士2名（補助員1名）
5歳児	くじら組	26名	保育士2名
		（園児定員 140名）	（保育士 23名）

主 任 2名

非常勤保育士	4 名
保育補助	1 名（常勤 1 名）
保育補助	2 名（パート）
嘱託内科医（1 名）	嘱託歯科医（1 名）

⑤保育内容

- 昨年度に引き続き「すくわくプログラム」に参加します。8 年度からは実施園には補助金が出るようです。次年度は「自然」をテーマに取り組む予定しています。
- 人口芝生での遊びの充実と砂遊びの取り入れ方を話し合い、園庭遊びの有効的な活用を目指します。また、柔軟体操や基本的な運動と衝突を回避する運動遊びも引き続き各年齢継続的に取り組みます。
- 近年猛暑日が長く続き冷房の効いた室内で過ごすことが多く乳児の発汗機能が低下していると考えます。引き続き発汗を促す運動を意識的に取り入れ発汗機能を培っていきます。
テラスにシャワーミストを取り付けるなど環境についても見直します。
- 個々のこども達の自分の身体への関心や健康づくりへの意識が高まるよう、復習やこども達の発想や考えを言葉で引き出せるよう活動内容を工夫します。
- 令和 7 年度は年度初めに異年齢交流を計画的に進める。年間を通し、1・2 歳児のお世話や逆に幼児クラスと一緒に遊ぶ日など日常的な交流も進めていく。
- 「SDG s」、については、年齢合にあわせた活動計画を継続します。年長クラスは、公園や園内のごみ回収活動を通し資源の大切さや環境美化への関心が持てるように実践から学ぶ機会とします。また、保育活動として各年齢で身近な廃材を教材や遊びに取り入れ実験など科学の芽を育てる取り組みを広げていきます。

⑥家庭との連携

- 7 年度より幼児の日々の活動についてコドモンで配信しています。今年はより閲覧率を高められるよう保護者への協力依頼と配信時間をなるべく一定にし閲覧しやすいよう努めます。
また、前期後期の 2 回程度、保育園での活動の様子を動画で視聴できる機会を設けます。
- ICT の新たな取り組みとして、日々の保育をメール配信やアンケートなども積極的に配信します。また、保護者の閲覧率を上げるための啓発活動を行っていきます。
- 保護者会における保護者間の情報交換がより有意義な時間となるよう進め方を工夫します。
また、栄養士による食育や看護師による健康教育の時間も組み入れ、家庭と園と一緒に子どもの健康づくりを考える機会にしていきます。
- 7 年度実施できなかった親子で参加できる健康教育を計画します。（健康かるた・紙面でのクイズなど）
- 7 年度は「5 歳児健康診断」を保護者の発達チェックへの協力のもと保育園・保健所・園医で協力しながら進めましたが、8 年度は保健所が実施することになりました。保護者に丁寧に説

明するとともに実施後は情報共有に努めます。

- 8年度より運動会は、会場確保や気候などに左右される校庭での実施から体育館での開催に切り替えていく予定です。前期保護者会で保護者の理解を得られるよう丁寧に説明します。
- 安全保育、自然災害や防犯、不適切対応などマニュアルの見直しをします。特に災害時の対応や職員訓練等の状況についてもお知らせしていきます。

⑦人材育成

- 正規職員の園内研修や勉強会の継続はもちろんですが、可能な範囲で非常勤保育士の参加を進めていくとともにパートの方（無資格）への人権や不適切対応や安全保育についてこれまでの報告に留まらず研修時間を設けます。人権についても参考文献を中心に共通理解を進めていきます。
- 園として個人として保育の質向上に向けて外部研修にも積極的に参加を勧め、個々の職員の学ぶ機会を計画的に実施します。
- 業務に対する意欲向上に向け子育て中の職員に対する研修機会を計画的に確保します。
統合失調症や自閉症スペクトラムの保護者等、難しいケースもあり職員間での情報共有と外部講師による勉強会を開催し、共通理解し対応に努めていきます。
- 年度替わりに「安全保育計画」と「保育所における不適切な対応」について主任・副主任を中心に丁寧に確認し、定期的な振り返り保育実践力を高めます。

⑧地域の実態に対応した事業

地域子育て支援事業

- 子育て支援活動として人気の「はまっこクラブ」の「離乳食講習会」の回数を増やすとともに食事や健康に関する相談時間を長めにとり個別の対応を丁寧にしていきます。
また、個別に在園児と交流する機会も設け、こどもを知る機会とします。
- 近隣老人2施設と交流をします。内容や回数については年度初めに計画しますが、交流時間は15分程度とします。今年度は4歳クラスも参加します。これまでのように夏祭りの神輿担ぎや季節の行事の際に老人施設を訪問、季節感のある歌や手遊びなどを披露したり触れ合い交流をします。
- ホームページをリニューアルします。：トップページを動画編集しより浜竹保育園への関心を広げ、子育て支援や施設見学等の来園者数を増やしていきたいと思います。

幼保小中との連携事業

- 近隣保育園（東糀谷）と交流します。（交流会回数5回予定）
- 近隣小中学校との交流や体験学習やボランティア積極的に受け入れます。
- 幼児クラスの煙体験や起震車体験を近隣園にお願いし参加経験していきます。

⑨苦情処理

- 8年度から保育園からの受診の際の医療証の取り扱いが変更となります。職員の共通理解と保護者説明を丁寧に行い、苦情につながらないよう準備を進めます。

保育中の怪我の対応については、日本スポーツ振興会にかけること等を丁寧に説明します。

※重要事項説明」について説明する際に「選定療養費」について説明をします。

- 精神疾患の保護者が増えより対応の難しくなり、全体で情報共有することがより重要となっています。定期的に勉強会を継続し専門家の助言を受けながらトラブルにならないよう丁寧に関わっていきます。また、アンケートや要望に対し改善の必要な場合は、速やかに検討・改善し、全保護者に向けてのメール配信や口頭で報告します。

⑩リスクマネジメント

- 応急保育開設訓練について区立園の訓練に参加させて頂き、参加者の報告のもと園内開設の訓練を行う。また、実践の振り返りを丁寧に行い、災害時事業継続（PCB）や安全保育計画（各マニュアル）の見直しも行います。

- 地震訓練においては、園内と園外で同時の避難訓練を計画します。また、園外活動時の防犯訓練をクラスごとに実施します。

- 安全保育として保育室の棚や玩具等環境の見直しをパートごとに定期的に行うとともに、不適切な関りなども事例記録を残し定期的にクラス単位で振り返ります。

- 救急救命や応急手当について定期的に看護師による講習を継続的に実施し、職員実践力を高めます。嘔吐処理については、経験の浅い職員に早めに講習会を実施します。

昨年度は様々な感染症が流行りました。早い段階で感染症について症状はじめ予防対策など看護師の指導で勉強会を実施します。

- 職員体制が変わる時に誤食事故が起こりやすいため、毎年の確認ですが調理パートはもちろん他職種も除去食提供や衛生管理など共通理解と確認作業を重ね、安全・安心な給食提供をします。新たに箸の破損や強度などクラスで配膳前後に確認、また調理室でも定期的に確認と補充を行います。

⑪ 修繕及び備品購入

- ・ パソコン1台入れ替え
- ・ ホームページのトップをリニューアル、動画にする
- ・ ユニホーム（ジャケットまたはトレーナー）の支給
- ・ トイレ、ウォシュレット便座に交換（多目的室2基）
- ・ 暑さ対策：園庭の散水器購入・テラスにシャワーミスト設置予定